

あのとときの常呂・写真館

VOL 154

(1995年)

平成7年11月26日

豊川区開基百年記念式典

▶豊川区開基百年事業の準備は、平成3年12月の豊川区定期総会で「今日的发展に心血を注ぎ、その礎を築いた先人たちの偉業に感謝と敬意を表し、百年を節目にさらに発展をめざすために百年記念事業の実施を話し合い、準備委員会設置を決めた」ところから始まります。翌4年2月8日、区役員会で準備委員を選任し、3月25日までに3回の準備委員会を開いて役員の構成・業務分担・実施年月・実施内容などの原案をまとめ、4月8日の臨時総会で原案を全員賛成で決定、準備委員会を豊川区開基百年記念実行委員会に名称を変えます。また、「世代交代が進み、昔のことがらが消え去ろうとしている現在、百年の節目を大切に、故郷の良さを後世に確かなものとして残したいという願い」から、平成7年1年間を百年記念の年として定め、区民全員参加でアイデアを出し合いながら実施することを決めました。(参考『豊川区開基百年記念誌 ふるさと』)



*上：記念式典：(午前10時40分から：豊川地域農村環境改善センター)



- *上：百年記念碑除幕式（午前10時から：環境改善センター駐車場）
台座に碑文あり（※常呂図書館HPの記念碑のデータベースに碑文掲載）
- *下：記念碑横に設置した石造りの豊川区地図（旧道も記載）





*上・下：式典終了後の祝賀会（中央に見えるプロジェクターで「開基百年豊川区」のビデオ上映



■ 『豊川区開基百年記念誌 ふるさと』 記載の記念事業を紹介します

事業名	実施月日	備考
歴代区長掲示額設置	11月26日	改善センター内に額を設置
記念碑建立・除幕式	11月26日	「拓翔」の文字
講話	6月15日	巖地神社祭に併行して行った 宇田川東大教授の講話
巖地神社にのぼり奉納	6月15日	3対奉納
記念植樹	6月25日	桂と榆の木を記念樹に制定して 記念碑背後に植樹
土の標本作製	6月27日	巖地神社祭境内の地層3mを採取
子ども盆踊り		お盆に川沿小学校校庭で実施
記念誌『ふるさと』 発行	11月26日	
立て看板設置		平成5年6月設置、区内2ヶ所で事業周知
花火大会	1月	新年の夜空に区内農協青年部員が実施
川沿フォーラム	6月23日	ふるさと夢事業で豊川・共立両地区青年 主催：川沿小学校体育館
郷土遊覧飛行	6月25日	ふるさと夢事業でヘリコプターでの 遊覧飛行
野外パーティ	6月25日	



*上：ヘリコプターの遊覧飛行



* 4枚：野外パーティ



*平成7年のさまざまな記念事業は、『ふるさと』でも多数の写真で紹介しています
*次ページに、平成8年1月号の「広報ところ」掲載記事を添付しました

開基百年を祝う

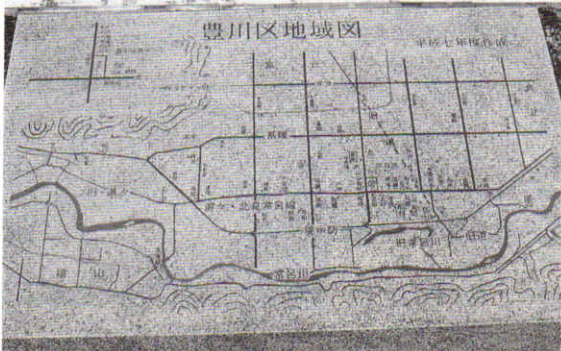
豊川区



十一月二十六日、豊川農村改善センターにおいて、豊川区開基百年記念式典が行われました。

昔、上川治と呼ばれた豊川区は、明治二十九年六月に大分県人浜田由良之助らが東一線十三号付近に入植し、大地との営み始めたことをもって開基と定められました。

豊川区では、平成四年から準備委員会を設置して、平成七年を記念の年として記念事業に取り組



んできました。

一月元旦の青年部主催の花火大会に始まり、六月には東京大学宇田川先生を招いての講話「川治の昔を聞く会」、夢事業を利用して共立区とともに行った川治フォーラム・郷土遊覧飛行、土の標本の作製、記念誌の発刊など一年を通しての記念事業



を行い、締めくくりの事業として記念式典と祝賀会を行いました。記念式典に先駆け、記念碑の除幕式が行われ、地区の古老、次代を担う子どもたちの手で「拓翔」の碑が除幕されました。

記念式典は、先住開拓者への黙祷に始まり、開基百年記念事業実行委員長長川谷幸男さんの式辞などの後に、区民の野瀬秀夫さんが苦労して作成したビデオ「開基百年豊川区」に見入りました。懐かしい顔や、今年の記念事業の流れを見ながら大きな歓声が沸き起こりました。

節目の事業を終え、豊川区の新たな二世紀が始まりました。

